

屋上に森！？人も鳥も住みやすいまちって？

 SDGsラジオを読んでみよう！

みなさんの住むまちには、緑はいっぱいありますか？

まちや住まいをつくる会社「東急不動産ホールディングス」では、ビルのまわりや屋上などに植物を植えて、生きものたちのすみかを守りながら、緑どうしをつなぐことで、生きものたちが自由に立ちよれる場所をつくっています。

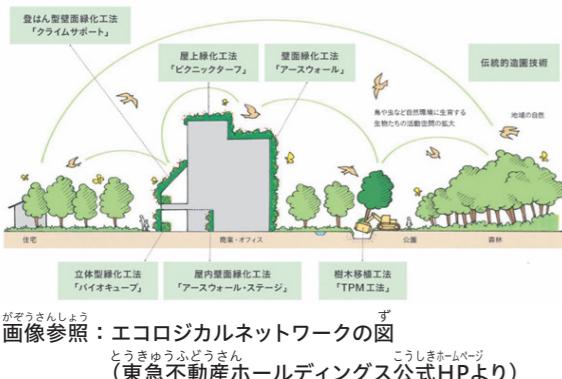
この緑のつながりを「エコロジカルネットワーク」といいます。

その取り組みのひとつとして今、東京都の渋谷区にある建物「東急プラザ表参道オモカド」の屋上に、「シジュウカラ」という小鳥の巣箱を置く「シジュウカラ邸宅プロジェクト」を進めています。

シジュウカラの巣箱は、ワンルームや二階建てなどいろいろな形があり、2024年には、シジュウカラが巣づくりをしてくれたそうです。

人と生きものがいっしょに生きていくためには、自然を思いやることが大切です。

みなさんも、まずは周りの自然に目を向けてみましょう。

 SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

まちや住まいをつくる会社「東急不動産ホールディングス」は、「エコロジカルネットワーク」という、緑と緑をつないで生きものが動きやすくするしくみをつくっています。これは、鳥や虫などわたしたちの周りにいる生きものたちのすみかを守る取り組みのひとつで、ビルの周りや屋上、壁などで植物を植えることで、生きものたちが公園とまちの緑を自由に行き来できる「緑の中継地点」が完成します。また、地域の生態系を守るために、植える植物にはその地域にすむ生きものたちが過ごしやすいものを選ぶなど、さまざまな工夫をしています。



この取り組みのひとつとして東急不動産ホールディングスは、東京都の渋谷区にあるショッピングセンター「東急プラザ表参道オモカド」の屋上にある「おもはらの森」に、「シジュウカラ」という小鳥の巣箱を設置する「シジュウカラ邸宅プロジェクト」を進めています。巣箱にはワンルームタイプや二階建てなどいろいろな形があり、シジュウカラがくらしやすいような工夫がされています。2012年のプロジェクトスタートから毎年新たな巣箱を設け、2024年にはシジュウカラが巣作りをしました。人と生きものがいっしょに生きていくためには、自然を思いやることが大切です。東急不動産ホールディングスでは今後もいろいろな視点からエコロジカルネットワークを広げ、人にとっても、生きものにとってもくらしやすいまちをつくっていきます。

 キーワード

生態系

動物や植物、微生物がいっしょにくらし、互いに影響し合う自然の集まりを「生態系」といいます。生態系は、環境や気候によって異なり、すべての生物がバランスを保ちながら共存しています。

東急プラザ表参道オモカド

東京都渋谷区にあるショッピングセンターで、洋服のお店や食べもののお店がたくさんあります。買い物に来る人に人気のスポットです。

シジュウカラ

日本全国に生息する小型の野鳥で、主に森林や公園、庭などで見られます。体長は約14cmで黒い頭と白いほっぺたが特徴的です。

 対象ゴール

みんなにできること！

周りの自然に目を向けて、人と生きものがどうすれば仲良くくらせるか、考えてみましょう。

- 東急不動産ホールディングスは、「エコロジカルネットワーク」をつくる取り組みを行っている。
- エコロジカルネットワークをつくることで、生きものたちが守られる。
- 東急不動産ホールディングスはエコロジカルネットワークをつくる取り組みのひとつとして、ショッピングセンターの屋上にシジュウカラの巣箱を設置している。

メモ

